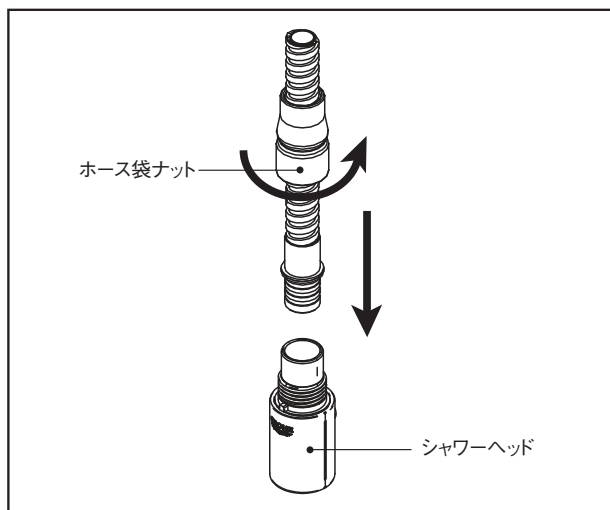


お手入れの方法

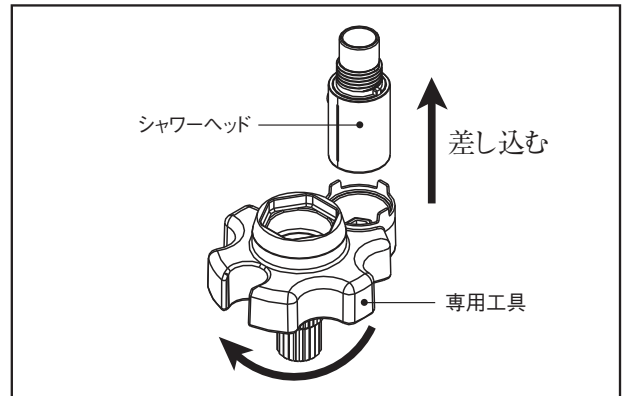
- 本体内部の水路に残った水の入替え及びカルシウムの付着を抑制するため、毎日の使い始めは酸性水モードで通水を行ってください。(通水時間の目安は、P.11を参照してください。)
- 水栓やタッチパネル部および本体を拭くときは、水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。最後に柔らかい布で乾拭きしてください。(水栓に直接、水またはお湯をかけないでください。)
- 洗剤・漂白剤・アルコール・クレンザー・ベンジン・シンナー・殺虫剤等是不わなひでください。変形、変色、ひび割れなど故障の原因となります。
- 食器等についた汚れや洗剤などがシャワーヘッドの先端についた場合は外側の汚れを取り除き、約2～3分通水して内部の洗浄をしてください。この時、シャワーにも切替えて通水してください。
- シャワーヘッドにゴミが詰まると取水量が減ったり、飛び散ったりしますので下記の手順で定期的にお掃除をしてください。

● シャワーヘッドの清掃方法

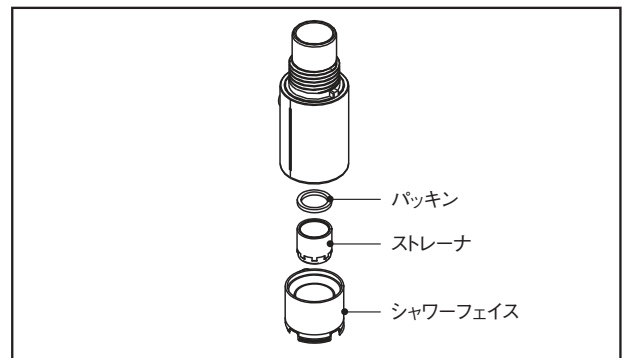
- (1) シャワーホースを引き出し、ホース袋ナットをゆるめシャワーヘッドを下方方向に引き取り外してください。



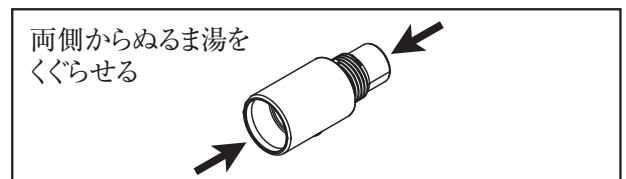
- (2) 取り外したシャワーヘッドの溝に専用工具を差し込み、ゆっくり図の矢印方向に回してください。



- (3) シャワーヘッドからシャワーフェイスを取り外し、ストレーナなどをブラシで水洗いしゴミや水あかを取り除いてください。



- (4) シャワーヘッドはシャワーフェイスを取り外した状態のまま両側からぬるま湯をくぐらせて、ゴミや水あかを取り除いてください。



※お手入れ後は、外した逆の手順で組み立ててください。その際、シャワーフェイスは専用工具を使用して確実に締め込んでください。締め込みがゆるいとシャワー切替が出来なくなりますのでご注意ください。



指示

- シンク下の配管まわりに水漏れがないか定期的に確認してください。部品の劣化、摩擦などによって生じる水漏れで、家財などを濡らすことを未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。(目安:1ヶ月に1回程度)